プロフィール

学芸員

守友 隆 Moritomo Takashi

もりとも たかし

担当分野

中・近世

所属学会

交通史学会
九州史学研究会
七隈史学会

略歴

1981 年、山口県柳井市生まれ
九州大学文学部人文学科(日本史学)卒業
同 大学大学院比較社会文化学府(日本社会文化)修士課程修了
同 大学大学院比較社会文化学府(日本社会文化)博士課程修了
博士(比較社会文化)

研究内容

専門分野は日本近世史で、江戸時代の街道と宿場について研究しています。
現在の北九州市域は古くから海陸交通の結節点にあたり、江戸時代には豊前国の小倉・大里、筑前国の黒崎・若松などの宿場と港町が整備されました。
そうしたこともあって同地域は日本史の大事件の舞台となっています。
北九州の歴史を明らかにすることが、日本の歴史を解明することにつながると考えています。

展示実績

特別展

- 「北九州市制 50 周年記念 北九州市の宝もの」 2013 年(共同担当)
- 「仁川広域市立博物館・旅順博物館の名品展」 2013～2014 年(共同担当)
- 「関門幕末維新伝」2016 年 (副担当)
- 「最後の戦国武将 小倉藩主 小笠原忠真展」2017 年

企画展

- 「経筒に託した祈り～平清盛の時代」 2012 年(副担当)
- 「むかしに学ぶエコスタイル」 2012 年(共同担当)
- 「北九州街道物語 1 小倉城下町」 2013 年
- 「北九州街道物語 2 黒崎宿」 2013 年
- 「黒田官兵衛、九州上陸！！」 2014 年(共同担当)
- 「博物館でふしぎの歴史発見」2016 年 (共同担当)

テーマ展示

- 「関門幕末維新外伝」2016 年

研究業績

論文等

- 「史料紹介 長討却軍記―慶応 2(1866)年の小倉戦争を題材とした軍記史料―」(『福岡地方史研究』第 46 号、2008 年 8 月、福岡地方史研究会)87～101 頁。
- 「日田広瀬家における政治情報収集―禁門の変を中心に―」(研究代表者 横山伊徳『東京大学史料編纂所研究成果報告書2008―2 近世後期における地域ネットワークの形成と展開日田広瀬家を中心に 科学研究費補助金基礎研究(B)研究成果報告書』2009 年 3 月、東京大学史料編纂所)73～88 頁。
- 「心光山大長寺と福岡藩黒田氏」(『福岡地方史研究』第 47 号、2009 年 7 月、福岡地方史研究会)121～130 頁。
- 「石垣原合戦記 九州の関ヶ原、石垣原合戦を題材とした軍記・伝記史料(上)」(『比較社会文化研究』第 26 号、2009 年 8 月、九州大学比較社会文化学府)1～12 頁。
- 「石垣原合戦記 九州の関ヶ原、石垣原合戦を題材とした軍記・伝記史料(下)」(『比較社会文化研究』第 27 号、2010 年 2 月)1～16 頁。
- 「史料紹介 九州大学所蔵の慶長五年石垣原合戦関係軍記史料について―寛文三年成立「黒田如水記」を中心に―」(『九州文化史研究所紀要』第 53 号、2010 年 3 月、九州大学附属図書館付設記録資料館九州文化史資料部門)55～90 頁。
- 「筑前国黒崎宿桜屋の宇都宮正顕像の再検討―『贈従五位宇都宮正顕翁小伝』の成立過程・テキスト分析を中心に―」(『比較社会文化研究』第 28 号、2010 年 9 月)1～16 頁。
- 「幕末期の国内政治情報と北部九州―筑前国黒崎桜屋・豊前国小倉村屋の「注進」行為について―」(『交通史研究』第 72 号、2010 年 10 月、交通史研究会)25～53 頁。
- 「筑前国黒崎宿桜屋の宇都宮正顕(古海東四郎)と宇都宮文書所収「筑前黒崎宿古図」」(『地方史ふくおか』第 146 号、2010 年 10 月、福岡県地方史研究連絡協議会)4

～8 頁。

- 「幕末期対馬藩主宗義達(善之允)の「嫡子成」における江戸藩邸・国元藩庁と幕府との折衝・情報伝達―宗家文庫、万延二辛酉年「義和様御二男善之允様御前様御養御嫡子成御記録」の分析を中心に―」(『比較社会文化研究』第 29 号、2011 年 2 月)1～20 頁。
- 「史料紹介 「小倉合戦風説書」巻一～四 ―慶応二年(一八六六)の長州戦争(小倉戦争・小倉口の戦い)を題材とした軍記史料―」(『九州文化史研究所紀要』第 54 号、2011 年 3 月)75～166 頁。
- 「幕末期長崎街道における人の移動―筑前国黒崎宿の関番所「覚」と旅籠屋「宿請状」の分析」(『福岡地方史研究』第 49 号、2011 年 9 月)66～80 頁
- 「福岡県立図書館所蔵「黒崎駅鎮座鳥野春日宮国祖黒田宮御由緒略記」の紹介」(『北九州市立自然史・歴史博物館研究報告』B 類歴史・第 9 号、2012 年 3 月)82(1)～48(35)頁
- 「長崎街道黒崎宿の春日神社と福岡藩黒田家―黒田長政の神格化と福岡藩主の参詣」(『福岡地方史研究』第 50 号、2012 年 9 月)24～38 頁
- 「九州大学所蔵・貝原益軒著「御家人先祖由来記」諸本の紹介―黒田孝高(官兵衛・如水)長政・忠之に仕えた家臣たちの由緒書」(『北九州市立自然史・歴史博物館研究報告』B 類歴史・第 10 号、2013 年 3 月)27(34)～60(1)頁
- 「福岡荒戸山東照宮についての一考察―福岡藩における東照大権現(徳川家康)信仰」(『福岡地方史研究』第 51 号、2013 年 9 月)42～57 頁
- 「北九州市立自然史・歴史博物館寄託「野村家系譜」の紹介―福岡藩黒田家重臣野村家の由緒と事績―」(『北九州市立自然史・歴史博物館研究報告』B 類歴史・第 11 号、2014 年 3 月)60(1)～20(41)頁
- 「史料紹介「豊後石垣原軍略記」―＜九州の関ケ原＞黒田如水と大友義統の合戦を記した軍記」(『福岡地方史研究』第 52 号、2014 年 9 月)50～65 頁
- 「幕末期博多の対馬藩蔵屋敷についての一考察」(『福岡地方史研究』第 53 号、2015 年 9 月、51～66 頁)
- 「黒崎宿と秋月藩黒田家」(『地方史ふくおか』第 159 号、2016 年 1 月、福岡県地方史研究連絡協議会、4～5 頁)
- 「慶長５年（１６００）柳川合戦（八院・江上表の合戦）に関する研究―佐賀鍋島氏と柳川立花氏の「関ヶ原」局地戦の語られ方―」(『公益財団法人鍋島報效会研究助成研究報告書』第 7 号、2016 年 2 月、公益財団法人鍋島報效会、73～104 頁)
- 「長崎県立対馬歴史民俗資料館所蔵「上使小笠原大膳大夫様御下向記録」と北九州市立自然史・歴史博物館所蔵「対州御用自他問答」の紹介」(『北九州市立自然史・歴史博物館研究報告』Ｂ類歴史第 13 号、2016 年 3 月、60（1）～13（48）頁
- 「文化度朝鮮通信使と小倉藩主小笠原忠固―上使任命の背景と昇進運動」(『福岡地方史研究』第 54 号、2016 年 9 月、4～20 頁)
- 「「異船追却志草稿」諸本の紹介―享保の「唐船」打ち払いに関する福岡藩士の記録」(『北九州市立自然史・歴史博物館研究報告』Ｂ類歴史第１４号、2017 年 3 月、74（1）～38（37）頁)

- 「「対州御供御仕立」の紹介―文化度朝鮮通信使に関する小倉藩の見積書」(『北九州市立自然史・歴史博物館研究報告』Ｂ類歴史第１４号、2017 年 3 月、36（39）～1（74）頁)
- 「日本 近世 一二 交通」『史学雑誌 2016 年の歴史学界―回顧と展望―』第 126 編第 5 号、2017 年 5 月、公益財団法人史学会、127～128 頁
- 「細川忠興宛て徳川秀忠・徳川家光「御内書」の紹介」(『北九州市立自然史・歴史博物館研究報告』Ｂ類歴史第 15 号、2018 年 3 月、50（11）～27（34）頁)

著書

- 新修志摩町史編集委員会 編『新修志摩町史』上巻、2009 年、志摩町
- 「第 5 編近世 第 3 章志摩地域の支配機構と生活 第 4 節交通の発達 1 陸上交通」(621・622、625～632 頁)を分担執筆。
- 石瀧豊美 編著『博多謎解き散歩』、2014 年、KADOKAWA(分担執筆)

- アクロス福岡文化誌編纂委員会 編『アクロス福岡文化誌 9 福岡県の幕末維新』、2015 年、公益財団法人アクロス福岡／海鳥社、(58～74、77～83、86～89 頁分担執筆)
- 筑前町町史編さん委員会 編『筑前町史』上巻、2016 年、第 5 編近世第 1 章「豊臣秀吉の九州平定」(357～363 頁)、同第 2 章「福岡藩と秋月藩の成立」(366～378 頁)、同第 4 章第 5 節「博多・黒崎・八反田の秋月藩蔵屋敷」(403～409 頁)、第 8 章「街道と宿場」(437～445 頁) を分担執筆

学会報告

- 「幕末「御用達」の御用状取次について―筑前国黒崎宿桜屋を中心に―」(2008 年度九州史学研究会大会、2008 年 10 月、於 九州大学)
- 「幕末期情報論の一考察―筑前国黒崎桜屋・豊前国小倉村屋・豊後国日田博多屋の注進状の分析―」(2009 年度交通史研究会第 1 回例会、2009 年 7 月、於 国士舘大学)
- 「幕末期の国内政治情報と北部九州―筑前国黒崎桜屋・豊前国小倉村屋の「注進」行為について―」(2009 年度九州史学会大会、2009 年 12 月、於 九州大学)
- 「幕末期対馬藩における国内情報収集活動に関する一考察―宗家文庫資料の「風説書」を素材として―」(2010 年度広島史学研究会大会、2010 年 10 月、於 広島大学)
- 「幕末期対馬藩を中心とした海外事件情報流通」(第 15 回七隈史学大会日本史部会 2013 年 9 月、於 福岡大学)
- 「慶長 5 年(1600)柳川合戦(八院･江上表の合戦)に関する研究―佐賀鍋島氏と柳川立花氏の「関ヶ原」局地戦の語られ方」(第 13 回公益財団法人鍋島報效会研究助成研究報告会 2014 年 5 月、於 公益財団法人鍋島報效会 徵古館)
- 「幕末期対馬藩の海外事件情報の受発信―慶応 2 年(1866)≪丙寅洋擾≫の情報を中心に―」(九州史学会日本史部会 2014 年 12 月、於 九州大学)

その他

- 大石学・佐藤宏之・小宮山敏和・野口朋隆 編『現代語訳 家康公伝』第 3 巻(2011 年 5 月、吉川公文館)「家康公伝 付録」巻四～六(78～151 頁)現代語訳担当
- 福岡市史編集委員会 編『新修福岡市史』資料編近現代 1・維新見聞記、2012 年、3 月、福岡市「巻ノ三 慶応二年」(128～195 頁)校訂担当
- 「「漂流貿易」の拠点・藍島(福岡県北九州市)―小倉藩の遠見番所が置かれた藩境の島―」(『西日本文化』459 号、2012 年 10 月)12～16 頁
- 「小倉新田(千束)藩の居館」(『北九州市の文化財を守る会会報』第 141 号、2013 年 9 月)1～2 頁
- 「名城探訪 小倉城」(『週刊日本の城』第 115 号、2015 年 4 月、株式会社デアゴスティーニ・ジャパン)25～29 頁
- 展覧会図録『大内文化と北九州』、2012 年、北九州市立自然史・歴史博物館(分担執筆)
- 展覧会図録『北九州市制 50 周年記念展 北九州市の宝もの』、2013 年、北九州市立自然史・歴史博物館編刊「武士の文化 武具」・「黒田二十四騎と黒崎春日神社」分担執筆
- 『最後の戦国武将 小倉藩主 小笠原忠真』、2018 年、北九州市立自然史・歴史博物館